

# 国際協力の現場を語る

JICA(独立行政法人 国際協力機構)は開発途上国の発展を支援するため、実務の経験と知識を持った人達を「JICA 海外協力隊」として派遣しています。この人達は海外旅行などでの体験とは違った、海外協力隊ならではの様々な体験をしてきています。赴任国で体験した、生活、文化、人々との触れ合い、苦労、喜び、伝えたいメッセージなどを熱く語っていただきます。

- ◆日時：毎月第3水曜日 15時00分～16時45分
- ◆タイトル：シニアの挑戦!! 国際協力の現場を語る
- ◆会場：JICA横浜 Web会議(Zoom)併用
- ◆主催：NPO法人 シニアボランティア経験を活かす会 ◆協力：JICA横浜
- ◆会費：無料(どなたでも自由に参加でき同時にZoomによるWeb会議も実施しますのでこちらへも参加できます)

会員以外の方でWeb会議への参加希望者は、

1. 氏名 2. メールアドレス 3. 「体験発表会参加希望」を明記の上、以下へメールをお送りください。

メール宛先：info@jicasvob.com

Web会議に参加するための招待メールをお送りします。



赴任国(講演者)	「タイトル」	講演概要
第245回 6月17日 (水) モンゴル (横溝 清子)		<b>「モンゴルでの日本語教育支援活動」</b> モンゴルの首都、ウランバートル市教育局に所属し、初等中等教育の外国語科指導主事の下、同僚の青年海外協力隊員2名と協力し、公立校の現地人日本語教師への日本語教授法や教室活動の指導を行った。その他、月2回の公私立校の日本語教師勉強会、教材作成、日本語キャンプ、日本文化紹介、学校訪問など活動は多岐に亘った。
第246回 7月15日 (水) トルコ共和国 (後藤由美子)		<b>「国際緊急援助隊を知っていますか」</b> 青年海外協力隊で40年以上前に派遣された後、海外への関心が高まり、国際緊急援助隊(以下JDRと略す)へ登録を行った。その後、3回派遣されているが、派遣されるたびにJDRの変化を感じた。JDRは海外協力隊と同じく日本の国際貢献の一つである。派遣の流れやどのような活動をしているのか変化ともども私の経験を通じて話をしたい。
第247回 8月19日 (水) ウズベキスタン (経澤伸一郎)		<b>「ウズベキスタンの近況報告」</b> 2025年秋にウズベキスタンの友人たちと会いに行きました。2017年3月から2年間、海外協力隊員として派遣されましたが、それ以降のウズベキスタンの近況について報告したいと思います。現在の経済状況やロシア・中国との関係も紹介します。
第248回 9月16日 (水) グアテマラ (飯田 明彦)		<b>「算数の楽しさをグアテマラへ」</b> 任地コバンの坂道とその先に広がる青空を思う時、子どもたちの人懐っこい笑顔、快く受け入れてくれたカウンターパート(CP)や先生方、ホストファミリーの姿が重なる。市内8校を巡回しての算数授業や算数部会3名での各地の研修会を通して、算数の楽しさを伝えられたとしたらうれしく思う。人生8回目、この貴重な経験を日本でも生かしたい。
第249回 10月21日 (水) アルゼンチン (田中 良平)		<b>「環境保全も産業振興も目指す」</b> アルゼンチンでは研究開発センターに配属されました。センター自体は全国組織ですが配属先は北部にある支所で、その地域ではサトウキビやレモンなど農産物生産が盛んです。支所ではこうした産業に関わるバイオマスを有効利用するための技術開発を進めており、それに対して助言や指導を行なうことがメインの活動でした。